

公益社団法人日本中国友好協会

2012年度(平成24年度)事業・活動報告

2012年4月～2013年3月

1. はじめに

(1) 公益法人登記

協会は、「公益社団法人」への移行認定が順調に進められ、2012年1月14日に移行認定申請を内閣府公益認定等委員会に行い、2012年3月27日付けで認定書が交付され、認定された。4月1日に東京法務局に登記手続きを行い、公益社団法人日本中国友好協会（以下「協会」という。）が設立した。

(2) 日中国交正常化40周年

2012年9月、日中国交正常化40周年を迎える。両国政府は「2012日中国民交流友好年」とし、両国関係の飛躍する年として、2012「日中国民交流友好年」実行委員会を立ち上げ、記念事業の実施と認定事業を行った。

認定した事業は35周年の認定数の倍を超える659件に達した。しかし、9月の「島の問題」により88件が中止や延期になった。協会関係及び各都道府県日中友好協会（以下「県協会」という。）や市区町村日中友好協会（以下「地区協会」という。）の行事や交流が中止や延期になったものも少なくない。

(3) 会長談話の発表

協会は、10月4日に理事懇談会を開催し、現状を打開すべき意見交換を行い、翌5日に加藤紘一会長の談話を発表し、両国政府の対話を通じての解決を要請した。

(4) 協会代表団訪中

こうした状況の中、協会は、村山富市名誉顧問を名誉団長とし、加藤紘一会長を団長とする協会代表団（一行17名）が1月28日～31日まで中日友好協会の招きで訪中し、李源潮中国共産党中央政治局員（3月に開かれた全人代において国家副主席に就任）や唐家璇会長らと会談を行った。また、帰国後、村山富市名誉顧問と加藤紘一会長は首相官邸を訪れ、安倍首相に訪中の成果を報告した。

2. 中日友好協会代表団来日

4月22日～29日まで、唐家璇会長を団長とする中日友好協会代表団（一行13名）を受け入れた。（同代表団は、当協会と公益財団法人日中友好会館との共同招聘）

一行は、大阪に到着後、東京、仙台及び札幌を訪問。各訪問都市では、それぞれ協会関係者との懇談や歓迎レセプション等に参加した。

大阪では、パナソニックセンターの視察。東京では、青年国会議員との懇談及び経団連との夕食会に参加。仙台では、被災地の視察（がれき処理場、小学校跡地、仮設住宅等）及び慰霊碑に献花をした。札幌では、JR北海道苗穂工場の視察をした。また、滞在中には、野田佳彦首相、横路孝弘衆議院議長、中曽根康弘元首相、福田康夫元首相、御手洗富士夫前経団連会長及び訪問先の知事、市長及び各界の代表と懇談をした。

3. 第13回日中友好交流会議

5月24日～25日まで、中国貴州省貴陽市において「地方と地方の交流促進」をテーマに開催。日本側は、加藤絃一会長はじめ19県協会から100名が参加。中国側は、唐家璇会長ら中日友好協会をはじめ4中央団体と20省市自治区と貴州省内の地区の代表を含め80名が参加。開会式では、酒井哲夫副会長と井頓泉副会長が双方を代表して基調報告を行った。また、趙克志貴州省長や丹羽宇一郎中国大使らが出席し、挨拶した。分散会は3会場に分かれ討議を行い。翌日の全体会議にそれぞれの分散会の議長が報告を行い、村岡久平理事長と王秀雲副会長がそれぞれを代表して閉会の挨拶をした。

24日午前：開会式・全体会議 午後：分散会（3会場） 夜：歓迎レセプション

25日午前：全体会議・閉会式

次回(2014年)の開催地は大阪に決まった。

4. 世界最大 恐竜王国 2012

7月21日～9月23日まで、千葉県・幕張メッセ国際展示場において開催。開幕式には、韓志強公使、粕谷卓志テレビ朝日常務取締役、長谷川喜和群馬県立自然史博物館名誉館長らが出席し、挨拶した。2か月間の開催期間中に36万人が入場した。

開催にあたり、4月16日に製作発表会を行った。

展示品は、中国山東省諸城市の諸城市恐竜博物館の全面的な協力を得た。

5. 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会

8月17日～20日まで、中国北京市・中国オリンピックセンター体育館において開催。日本から12都道府県と67都市から397名、中国から419名が参加。83チーム（1チームは、友好都市の日本側中学生男女1名ずつ、中国側中学生男女1名ずつの計4名で編成。）が熱戦を繰り広げた。競技は、男女シングル4戦と混合ダブルス1戦で争う団体戦。

大会は、福岡県－江蘇省、長野市－石家荘市、松本市－廊坊市、市原市－中山市及び鹿児島市－長沙市の5チームがブロック優勝した。

最終日は、人民大会堂において表彰式と閉会式を行った。その後、交流宴会を催した。

6. 日中友好7団体会長ら訪中

9月27日～28日まで、協会から加藤絃一会長と村岡久平理事長が中日友好協会の招きで訪中。日中友好7団体の会長らとともに賈慶林中国人民政治協商会議全国委員会主席と会談した。会談には、日中友好7団体のほか、米倉弘昌経団連会長、田中真紀子衆議院議員ら13名が出席。その後、唐家璇会長とも会談した。

7. (公社)日中友好協会代表団

1月28日～31日まで、村山富市名誉顧問を名誉団長とし、加藤絃一会長を団長とする(公社)日中友好協会代表団（一行17名）が中日友好協会の招きで訪中。滞在中、李源潮中国共産党中央政治局員（3月開かれた全人代で国家副主席に就任）や唐家璇会長らと会談した。また、楊潔篪外交部長、楊文昌中国人民外交学会会長、蔡武文化部長らと懇談し「島の問題」で停滞す

る日中民間交流の再開を呼びかけた。また、中国国家旅遊局、中華全国青年連合、北京市人民政府及び北京市人民対外友好協会等を訪問した。木寺昌人中国大使は代表を招いて昼食会を開催した。

なお、一部日程には、北海道日中友好協会代表团（団長・青木雅典会長）が同席した。

8. 協会の組織運営

(1) 2012年度は、定時総会1回、臨時総会1回、定例理事会5回、臨時理事会1回及び常務執行委員会6回開催した。

公益社団法人化後最初の総会、第1回定時総会（6月18日開催）は、2011年度事業・活動報告と収支決算報告の承認及び役員の変更が行われた。その後にかかれた理事会において、加藤紘一会長が引き続き会長に選任され、副会長4名、理事長1名及び常務理事4名が選任された。第2回臨時総会（1月22日開催）は、基本財産の取崩しについての承認を得た。

また、第6回定例理事会（3月14日開催）は、2013年度事業・活動計画と収支予算が承認された。また、会報「日本と中国」発行日の変更（月3回発行から月1回発行へ）が承認され、2013年6月から実施することとなる。さらに、協会の財政、組織等の確立のために財政委員会、組織委員会、事業・活動委員会及び広報委員会の4つの委員会を設立し、第1回広報委員会（3月26日）を開催した。

(2) 2012年度末現在の正会員（都道府県日中友好協会）は、43都道府県日中友好協会。未組織は島根県、長崎県の2県。未加盟は宮崎県である。

なお、3月27日、群馬県日中友好協会が再建され、会長に中村紀雄群馬県会議員が就任。また、最高顧問に福田康夫元首相、名誉会長に大澤正明群馬県知事が就任した。

(3) 全国女性委員会

6月2日、秋田県において全国女性委員会第10回北海道・東北ブロック交流会議を開催した。130名が参加。協会から酒井哲夫副会長、村岡久平理事長及び随萍駐札幌総領事夫人らが招かれて就出席した。

(4) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。

青年委員会等：北海道、宮城県、福島県、茨城県、千葉県、神奈川県、長野県、京都府、大阪府、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、宮崎県（15県協会）、
女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、岡山県、香川県、高知県、熊本県、大分県、宮崎県（25県協会）

9. 展覧会等

(1) 「周恩来と日本」写真展

北海道・旭川市と滝川市及び青森県・青森市の2道県3会場で開催。通算18都道府県40会場で開催となった。

(2) 「中国各界代表团揮毫足跡展—北京からの帰国」展

2010年5月、中国・北京で開催後、東京、箱根、名古屋及び札幌の4か所で開催。同展は、

藤田観光の経営するホテルを訪れた中国各界の代表団が芳名録に残した数々の揮毫の展示。
主催は協会と藤田観光㈱等。

(3) 講演会

- 5月13日 加藤絨一会長が三重県日中友好協会創立60周年記念講演会で講演。
8月12日 加藤絨一会長が福井県日中友好協会等主催「日中国交正常化40周年記念式典」で講演。
3月27日 橋本逸男副会長が群馬県日中友好協会設立記念講演会で講演。

10. 青少年交流

全国の各県都道府県日中友好協会が青少年の交流事業に積極的に取り組みを行っている。
当協会は、中学生の卓球選手を対象にした「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」を8月に開催した。「5. 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」の項をご参照ください。

11. 文化、教育、学術などの諸分野の交流とミッションの派遣・受入等

(1) 訪中団等の派遣

5月22日～26日	第13回日中友好交流会議	100名
8月16日～21日	日中友好交流都市中学生卓球交歓大会	397名
9月27日～28日	加藤絨一会長、村岡久平理事長	2名
1月28日～31日	(公社)日中友好協会代表団(団長・加藤絨一会長)	17名
2月25日～3月1日	第30回全日本中国語スピーチコンテスト	
	全国大会優勝者訪中	2名
		(計518名)

(2) 訪日団等の受入

4月22日～29日	中日友好協会代表団(団長・唐家璇会長)	13名
		(計13名)

(3) 中国の関係機関との交流

- 4月9日 *中国政府特使・蔡武文化部長来日歓迎レセプション
6月23日 *北京市人民対外友好協会代表団歓迎会
7月17日 *中国高校生長期招へい事業第六期生帰国前報告会及び歓送レセプション
7月19日 *2012年北京市青少年キャラバン訪日団歓迎会
7月17日 *中国観光感謝のレセプション
8月31日 *中国高校生長期招へい事業第七期生来日歓迎会
8月20日 *中国高校生訪日団第1陣歓迎会
9月6日 *加藤絨一会長は楊振亜元中国大使
(中国国際友好連絡会副会長)一行と懇談
9月10日 *日中次世代幹部交流訪日団第1陣農業視察団歓迎会
9月27日 *加藤絨一会長、村岡久平理事長が日中友好7団体の会長らとともに、
賈慶林中国人民政治協商會議全国委員会主席と会見
11月5日 *村岡久平理事長が井頓泉中日友好協会副会長と懇談

- 1月17日 *香港・澳門大学生訪日団歓迎会
- 1月28日 *村岡久平理事長が中日国交正常化40周年
・回顧と展望シンポジウムに参加（北京）
- 1月29日 *（公社）日中友好協会代表団が李源潮中国共産党中央政治局員らと会見。
- 3月5日 *中国大学生代表団歓迎会
- 3月11日 *中国青年メディア関係者代表団歓迎会
- 3月13日 *中国報道関係者訪日団来訪

(4) 在日中国機関との交流

- 7月31日 *中国大使館が村岡久平理事長と事務局職員を招宴
- 7月30日 *王昆（公財）日中友好会館中国代表理事との懇談
- 8月7日 *韓志強公使が村岡久平理事長及び常務理事らを招宴
- 8月24日 *2012年度中国政府奨学金生壮行会
- 9月7日 *2012東京「中国文化祭」開幕式及び開幕レセプション
- 9月12日 *新潟総領事館主催 中華人民共和国建国63周年祝賀レセプション・新潟
- 9月24日 *日中友好会館後楽寮生員会主催 国慶節祝賀行事
- 9月24日 *程永華大使が日中友好7団体会長らと昼食会
- 9月25日 *中国大使館主催 中華人民共和国建国63周年
・中日国交正常化40周年祝賀レセプション
- 9月29日 *東京華僑総会主催 国慶節祝賀会
- 12月5日 *文徳盛、孫美嬌両中国大使館参事官と懇談
- 12月14日 *東京華僑総会と日中友好7団体との懇親会
- 12月25日 *中国大使館友好交流部と懇親会
- 12月27日 *加藤紘一会長、村岡久平理事長が程永華大使と懇談
- 1月18日 *中日教育交流新年交歓会
- 1月24日 *加藤紘一会長、村岡久平理事長が程永華大使と懇談
- 2月4日 *日中友好会館後楽寮生春節祝賀会
- 2月5日 *中国大使館が日中友好7団体等を招いて2013年新年会

(5) その他

- 4月10日 *中日国民交流友好年開幕式公演
- 5月15日 *「魯迅と日本友人展」開幕式
- 6月19日 *中国山水画展開幕式
- 7月4日 *感知中国「美しい中国 美しい日本」写真展開幕式
- 7月7日 *福島県日中友好協会第44回定期大会
- 7月17日 *「多彩貴州」民族芸術展開幕式
- 7月17日 *貴州民族歌舞劇院「多彩なる貴州の風」公演
- 7月23日 *遣唐使慈覚大師円仁展開幕式（高野倉）
- 7月26日 *2012日中国国民交流友好年 記念シンポジウム イン 新潟
- 8月3日 *日中青少年書道交流展（東京）開幕式
- 9月20日 *日中国交正常化40周年谷村新司40周年特別記念コンサート

- 10月 8日 *松山バレエ団主催 日中国交正常化40周年祝賀祝祭
- 10月10日 *日本寧夏友好交流協会設立記念式典
- 10月11日 *第23回佐川日中友好車輛整備技術研修開講式
- 11月 2日 *第23回佐川日中友好車輛整備技術研修閉講式・歓送会)
- 11月27日 *第5回日本中国写真藝術協会展
「五彩斑斕の中国」オープニングパーティ)
- 12月 2日 *少林寺拳法創始者宗道臣生誕100年記念
・2012年少林寺拳法全国大会 in かながわ
- 12月11日 *日中交流書画展開幕式(～16日)
- 1月27日 *鹿嶋・塩城友好都市10周年祝賀2013鹿嶋市日中友好協会新春交流会
- 3月25日 *第3回日中国会議員・公務員書道展オープニング・セレモニー

1.2. 留学生派遣事業

(1) 2012年公費留学

中国教育部及び中国大使館教育処の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を選考し、20名(長期のみ)を中国各地の大学に派遣した。

4月20日 中国大使館教育処に公費留学申請書提出

8月6日 中国留学研修会を開催

8月24日 中国大使館教育処は「2011年度中国政府奨学金日本人留学生壮行会」を開催

(2) 2013年公費留学

1月7日～2月8日、2013年公費留学の応募受付をした。応募者数は56名。

3月10日、公費留学生選考面接試験を実施し、20名を内定した。

1.3. 中国語普及事業

(1) 第30回全日本中国語スピーチコンテスト

1月13日、第30回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会を開催。全国大会には、大学生部門10名、高校生・一般部門10名が出場した。優勝者は、大学生部門・外山一成君(東京都)、高校生・一般部門・深田嘉男さん(一般・茨城県)が獲得した。

なお、都道府県大会は、19箇所で開催103名が出場。該当県協会は大学生部門15名、高校生・一般部門10名をエントリーした。11月25日にテーブル審査を行い、全国大会出場を選考した。また、当道府県大会には約1,000名の観客があった。

朗読部門には、中学生・高校生部門7名、大学生大学院生部門7名、一般部門4名がエントリーした。テーブル審査の結果、中学生・高校生部門3名、大学生大学院生部門3名、一般部門1名が入賞し、当日の発表会で日頃の成果を披露した。都道府県大会には、218名が出場した。

(2) 第39回日中友好中国語夏期スクーリングは、全国5会場(内1会場は春期開催)で開催した。200名が受講した。

(3) 各県協会及び地区協会が実施している中国語講座(教室)は、30都道府県で開催している。

1 4. 中国緑化協力事業

(1) 甘肅省敦煌市陽関風沙口の植林

3月に日中緑化交流基金への3年目の報告書を提出し、終了となった。

(2) 日中緑化交流基金の2011年度助成

宮城県日中友好協会（吉林省九台市2年）、茨城県日中友好協会（湖北省孝昌県衛店鎮団山基地2年）、埼玉県日中友好協会（山西省呂梁市4年）、長野県日中友好協会（河北省邢台市市内丘県1年）、静岡県日中友好協会（山東省淄博市5年）、三重県日中友好協会（河南省光山県1年）6県協会（6箇所）が助成を受け、緑化事業を行っている。

1 5. 日中友好都市締結の推進と支援

(1) 主な友好都市関係行事

① 8月17日～20日「日中友好交流都市中学生卓球交歓大会」を開催（詳細は5. 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会を参照。）。②静岡県と浙江省との友好都市30周年を迎え、浙江省代表団が来日、祝賀行事を開催。③高知県日中友好協会は、友好都市提携している安徽省の各都市を訪問、交流した。④鹿嶋市と塩城市との友好都市締結10周年を迎え、塩城市代表団が来日、祝賀行事を開催。

(2) 日中間の友好都市および友好交流都市の締結数は361組（内、友好都市251組）（新規8組、解除・休止5組、3増）。その中、県一省は37組（1増）締結されている。（参考資料：（財）自治体国際化協会）

(3) 2012年度中に中国側が認可した友好都市は次の2組。

静岡県	浜松市	－	浙江省	杭州市	2012年4月6日
北海道	登別市	－	広東省	広州市	2012年11月15日

1 6. 日中友好7団体等との提携事業

(1) 中日友好協会代表団唐家璇新会長歓迎レセプション

日中友好7団体は、4月25日、都内のホテルにて、新会長就任を祝い、来日歓迎レセプションを開催した。加藤紘一会長が歓迎の挨拶を行った。700名が出席。

(2) 木寺、丹羽新旧中国大使歓送迎会

日中友好7団体は、12月20日、都内のホテルにて、木寺新中国大使の就任祝い、また、丹羽前大使への感謝の気持ちをこめて歓送迎会を開催した。玄葉光一郎外務大臣、程永華駐日中国大使ら700名が出席。

(3) 日中友好7団体提携

9月24日 程永華大使が日中友好7団体会長らと昼食会

10月12日 日中友好7団体懇談会

12月14日 日中友好7団体と教化事件原告 周桐君及び原告弁護団との懇談

2月5日 中国大使館、日中友好7団体等を招いて2013年新年会

(4) 後援・協力は公演・展覧会等55件

1 7. 組織の充実・発展に関する事業等

(1) ホームページ・インターネットの積極的な活用

毎年12月に行なった組織基本調査によると、ホームページを開設している県協会は20県協会（前年比同）メールアドレスを持っている県協会は29県協会（前年比1増）であった。

(2) 満蒙開拓平和記念館

9月11日に起工式を行い建設が始まり2013年4月24日開館式典を開き、翌25日から一般公開する。記念館は木造平屋440平方メートル。関係図書2,100冊ほか当時の写真、絵はがき、地図、手紙、教本などを展示している。引き続き募金活動と展示資料の提供を呼び掛けている。

(一社)満蒙開拓平和記念館事業準備会は、2006年7月から足掛け7年の歳月を経て開館を迎えることになった。

(3) 出版と会合等の開催

① 会報「日本と中国」は、32回発行。

② 「友好手帳」2013年版は10月に発行。

③ 平山郁夫作品カレンダー2013は12月に発売

④ 1月23日、2013年日中友好新年会（(NPO)東京都日中友好協会と共催）を開催。

(4) 財政について

過去数年間、財政状況は改善されず、今年度は基本財産3,000万円の取崩しを行うところまでの状況となった。こうした状況を踏まえて、財政委員会を設立し、他の3つの委員会（組織委員会、事業・活動委員会及び広報委員会）と連携し、財政の改善に取り組んでいくことが重要である。

以 上